



芽室町 コミュニティ・スクール(CS)通信

～「郷育・夢育」を軸とした地域とともにある学校づくり&学校を核とした地域づくり～

発行：めむろ郷育・夢育応援団事務局(芽室町教育委員会)

No. 11

令和6年 11月26日
発行

「夢」講話

主催：芽室中学校 学校運営協議会

【芽室中学校 全校生徒 380名 **めむろ未来学**】11月 1日 (金)

ゲスト
ティーチャー

「挫折をプラスに考えることが大切！」(中学3年生)

芽室中学校で、コミュニティ・スクールの一環として「夢への挑戦心を育む」ことを目的とした【夢講話】が行われ、講師として芽室ホルックス出身の元プロバスケットボール選手鈴木豊さん、元プロアイスホッケー選手佐藤光さん、元プロダンサー川上さゆりさんの3名をお招きしました。

当日は、生徒会役員が司会・進行を務め、講師の方々が質問に答える形で進められました。まず、「中学生に戻ったらやりたいことは何ですか？」という質問に、「プロで活躍している時に外国人を相手にする機会がたくさんあったので、英語の勉強です。」という回答や「練習が忙しくて家族旅行に行けなかったので、家族で旅行に行きたいです。」というお話がありました。そのほかには、本番前のルーティーンや挫折しそうになった時の気持ちの切り替え方などをお聞きしました。

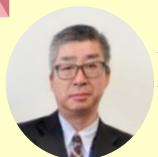
その後、鈴木さんにはバスケットボール部員との1対1の対決、佐藤さんにはテニスボールをアイスホッケーのパックに見立ててハンドリングとシュートの実演、川上さんには振り付けをレクチャーして生徒全員とのダンスを披露していただき、大盛り上がりで終了しました。



生徒は「夢をもつことが大事。」「夢をあきらめず、最後まで挑戦し続けることが大切。」という感想や「夢を追いかけることが楽しい。」「挫折をプラスに考えることが大切。」など、夢の実現に向けた強い意志が表れた感想もありました。

生徒全員が、夢への挑戦心をもち続ける大切さを再認識した取組となりました。

CSコーディネーターの ひ・と・こ・と



芽室西小学校
芽室西中学校
担当
大熊 孝史

最初、戸惑っていた生徒も時間が経つうちに、熱心に収穫作業を行い、「楽しかった」「もっとやりたかった」と話していました。

ボランティアさんには、トラクターの動線に生徒が入らないように、安全確保の支援をしていただきました。

熱心に収穫作業を行っている生徒の姿を見て、畑作農業の大切さや厳しさを体験することができたと思います。

今後の学習のまとめが楽しみです。

ゲスト
ティーチャー
学習
サポーター

【芽室西中学校 1年生 46名 **めむろ未来学**】…10月30日 (水)



ナガイモ 収穫体験 「食農体験学習、いつでも引き受けるよ！」(講師の方より) 収穫体験 「仕事の厳しさを知る学習となった！」(ボランティアさんより)

芽室西中学校 1年生は、芽室町の畑作の理解と関心を高める食農教育の一環として、鳥本和宏さん(上伏古：鳥本農場)と畠山大輔さん(中伏古：畠山農場)を講師として「ナガイモ収穫体験」を行いました。

農場に到着すると、講師の方から収穫の仕方や作業の安全に関する説明があり、その後、収穫作業に入りました。生徒は、畝に置かれているナガイモの土を丁寧に落とし、傷を付けないようにコンテナに入れる作業を行いました。後半には、ナガイモを地中から引き抜く作業にも挑戦し、「おー、取れた。」「もっとやりたい！」など、収穫を喜ぶ声が畑に響いていました。

4本のナガイモを引き抜いた生徒は「思ったよりも土が硬く、ナガイモに付いている土を取って引き抜こうとしても、今度は足が土に埋まってしまった。」と話し、収穫作業の大変さを実感していました。



講師の方から「食農体験学習は、いつでも引き受けるよ。」との温かい言葉をいただき、作業を見守っていただいたボランティアさんからは「生徒たちが疲れてきても学習を続けたことで、単なる体験だけではなく、仕事の厳しさを知る学習となった。それがとても良かった。」との感想をいただきました。

生徒たちにとって、農業のやりがいや厳しさを学ぶことができ「ふるさとを愛する心」を育みたいへん意義ある取組となりました。

学校支援ボランティアは毎週募集しています。
詳しくは、生涯学習課社会教育係(62-9730)
にお問い合わせください。



めむろ郷育・夢育応援団員
(学校支援ボランティア)募集



芽室町のコミュニティ・スクール
について